

「日米地位協定の見直し求める」請願 採択

●「日米地位協定の見直し」(提出：平和委員会)と「消費税の増税に反対する」(提出：甲賀民主商工会)請願を審議。請願人と紹介議員も含めて質疑があった。「日米地位協定見直し」は、今年1月に沖縄で起きた交通事故で米軍属が当初「不起訴」に、その後「協定の運用改善」ということで在宅起訴となった経緯などがあり、社会的にも関心が高く、不平等の地位協定は見直すべき、との世論が広がっている。本会議では全員賛成で採択、同様意見書も採択。しかし、消費税増税反対の請願は、「やむをえない」などの理由で不採択に。賛成は日本共産党4議員と葛原議員だけ。

総務常任委員会

山岡光広委員

「消費税の増税に反対する」請願 不採択

年金の充実を求める3つの請願 不採択



民生常任委員会

小西喜代次委員

新条例案2件採択
年金関係3請願不採択
小西議員賛成討論

- 2つの新規条例、暴力団排除条例案、来年4月甲南町に開設の市民福祉活動センター条例案は全員賛成(委員長除く5人)。
- 甲賀年金者組合からの、受給資格期間短縮(賛成：木村・小西)、最低保障年金制度の創設(賛成：小西)、無年金・低年金者への国庫負担分の支給(賛成：木村・小西)の各請願には、谷悦男副支部長が趣旨説明を行い、質疑応答。その後の審議で小西議員は、憲法の25条の尊重、大企業、富裕層からの減税をやめることや軍事費の削減など財源を示して賛成討論をした。

市の景観条例制定に賛成

産業建設常任委員会

小松正人委員

付託案件
市景観条例の制定

- 平成16年景観法の施行以来、甲賀市は景観計画の策定が遅れていたが、県の「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」の意向を受けて、景観行政団体として。景観行政を本格的に前進させることとした。その背景には、観光行政の促進、3つの新名神高速道路インター付近の開発調整、文化財整備、屋外広告物規制など総合的な政策均衡を図るものと説明がなされた。
- 小松議員は、市内の景観重要建設物、景観重要樹木の保全、管理、修復などを含め、条例の果たす役割は大きいと賛成した。

10月に結んだのに、議員への説明が遅すぎる、認定こども園の協定書

文教常任委員会

安井直明委員

- 市と法人の認定こども園の協定書 保護者や議員への説明時期等問題あり
- 食品安全のため測定器を設置



市民こそ主人公の立場で積極的に発言